



オートテーパー™

TCE-700
TCE-700
シーケンスタイプ

電子テープカッター(セーフティガード機構付)

取扱説明書



ニチバン株式会社

はじめに

- このたびは、**ニチバンオートテーパー™ TCE-700 TCE-700** シーケンスタイプをお買上げいただきありがとうございます。
- 本取扱説明書はよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 保存し、必要なときにお読みください。
- 裏面に記載されている保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。

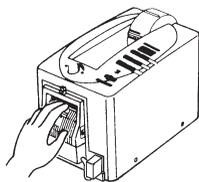
も く じ

| | |
|----------------------|-------|
| ■安全上のご注意 | 3 |
| ■各部のなまえとはたらき | 5 |
| ■使いかた | |
| ●共通事項 | |
| お使いになる前に | 7 |
| テープのセット | 7 |
| プレッシャーつまみの調整 | 8 |
| テープ長さの設定 | 9 |
| テープ長さの変更 | 9 |
| 手動送り（キー操作）で使用する | 9 |
| 自動送り（オートフィード）で使用する | 10 |
| オートフィードカッターユニットのしくみ | 10 |
| エラー表示の解除方法 | 11 |
| セーフティガード機構について | 12 |
| ●シーケンスタイプ | |
| 3種類のテープ長さの登録 | 13 |
| 登録した長さの変更 | 15 |
| メモリーを自動切替えて使用する | 15 |
| メモリーを手動切替えて使用する | 16 |
| ●共通事項 | |
| テープの交換方法 | 17 |
| オートフィードカッターユニットの交換方法 | 17 |
| ■こんなとき | |
| こんなとき | 18 |
| テープが詰まったときの取り出しかた | 22 |
| ■展開図 | 23-24 |
| ■部品表 | 25 |
| ■別売部品 | |
| 別売部品・消耗品 | 35 |
| ■別売部品の交換方法 | |
| カッター刃の交換 | 36 |
| テープ押さえガイドの使用 | 37 |
| テープアタッチメントの使用 | 37 |
| はくりローラーユニットの交換 | 38 |
| リールスタンドの使用 | 39-40 |
| ■仕様 | 41 |
| ■お手入れの方法 | 42 |
| ■保守・点検・サービス | 42 |
| 保証書 | 裏表紙 |

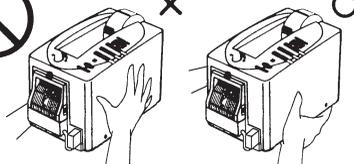
安全上のご注意 (おまもりいただくこと)

⚠ 警告: 場合により、ケガをするおそれがあります。必ずお守りください。

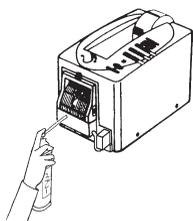
警告



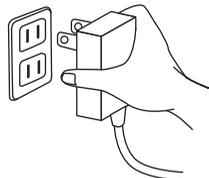
テープの出口に指をいれない。
カッター刃に触れてケガをすることがあります。



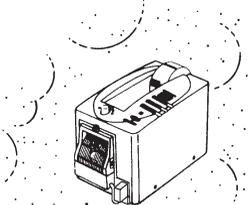
本体を移動する際は、必ず本体底面に手を添えて持ち運ぶ事。
落とした場合、ケガをすることがあります。



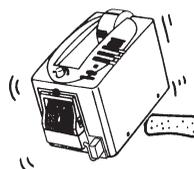
可燃性ガススプレーは、使用しないでください。
爆発するおそれがあります。



必ず付属の AC アダプターをご使用
ください。



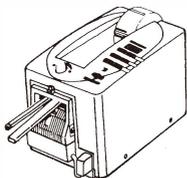
水・湿気・ホコリの多い場所で使用しないでください。
感電・故障の原因になります。



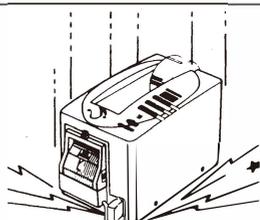
ぐらついたり、傾いている不安定な場所
で使用しないでください。
落下するなどして、ケガの原因になります。

⚠ 警告:場合により、傷害や損害を被ることがあります。必ずお守りください。

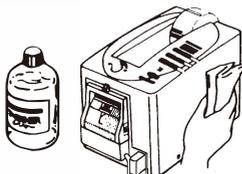
⚠ 警告



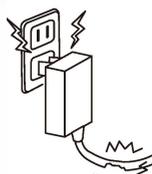
テープの出口に棒などを差し込まないでください。
カッターが故障することがあります。



強い衝撃をあたえないでください。
故障・破損の原因になります。



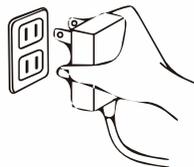
本体は、ABS樹脂ですので、工業用油やシンナー・ベンジンなどで拭かないでください。
破損することがあります。



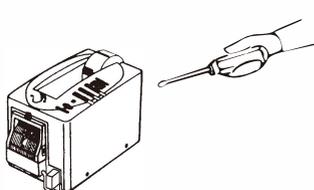
ACアダプター、コンセントが破損したまま、ゆるんだまま、ホコリが詰まったまま使用しない
火災・感電・故障の原因になります。



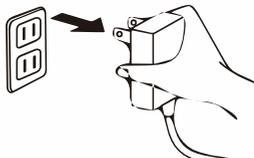
引火性のものの近くでは使用しないでください。
発火することがあります。



AC100V～240V以外の電源では使用しない
火災・感電・故障の原因になります。



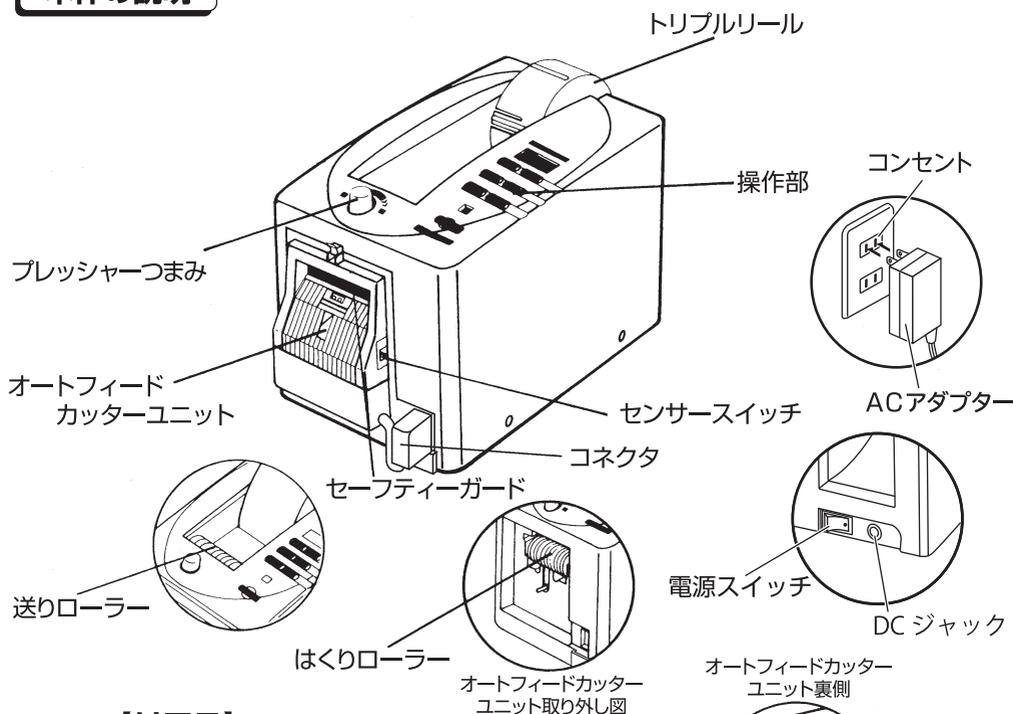
ご自分で改造はしないでください。
故障・発火など、異常の原因になります。



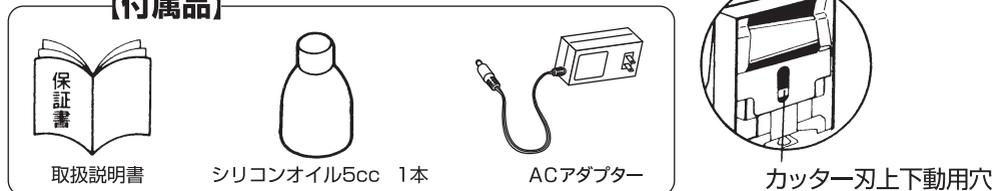
部品交換や設置場所を移動するときは、
電源スイッチを切り、ACアダプターを
コンセントから抜く
誤ってキーを押すと、作動して危険です。

各部のなまえとはたらき

本体の説明



【付属品】

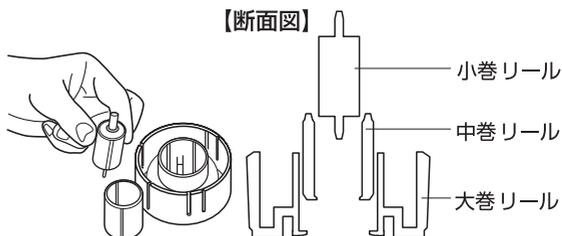


中巻リール・小巻リールの取り出し方

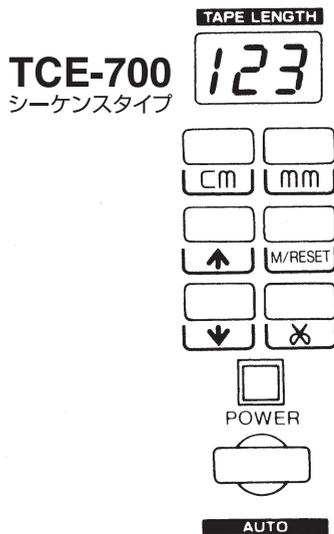
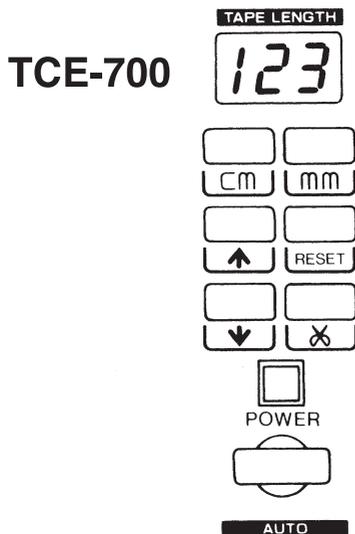
軸を平らな面に押し付けると、リールが外れます。

※軸を平らな面に押し付ける際に大巻リールの方向が正しい方向であるか確認してください。

| | |
|---------|-------|
| 小巻リール外径 | φ25.4 |
| 中巻リール外径 | φ35 |
| 大巻リール外径 | φ76.3 |



操作部の説明



| | |
|---|---|
| <p>●電源スイッチ</p> <p>OFF ON ONの側を押すと電源が入ります。</p> | <p>●送りキー</p> <p>↓ キーを押している間、テープが出ます。</p> |
| <p>●表示部</p> <p>TAPE LENGTH</p> <p>123 最大3桁(999mm)までテープの長さを表示します。</p> | <p>●カットキー</p> <p>✂ キーを押すと、テープをカットします。</p> |
| <p>●サイズキー</p> <p>CM MM mmキーを押すと、mmの単位1桁(0~9mm)を設定できます。 cmキーを押すと、cm単位2桁(30mm~990mm)を設定できます。 mmキーを押しながらcmキーを押すと最初の30mmの表示に戻ります。</p> | <p>●オートキー</p> <p> キーを押すと、表示中の設定長さにテープを1回自動送りし、自動カットします。</p> |
| <p>●リバースキー</p> <p>↑ 送りローラーが逆転します。テープ交換時などにご使用ください。</p> | <p>●リセットキー</p> <p>キーを2回押すと、RESET Err --- を解除します。</p> <p>●メモリー/リセットキー</p> <p>M/RESET</p> <ul style="list-style-type: none"> Err --- を解除します。(2回押) 3種類の長さを登録します。 |
| <p>●電源ランプ</p> <p> 電源が入るとランプが付きます。</p> | <p>●プレッシャー(圧力)つまみ</p> <p> テープの押さえ圧力をテープに合わせて調整できます。</p> <p>※テープによっては効果が発揮できない場合があります。</p> |

使いかた

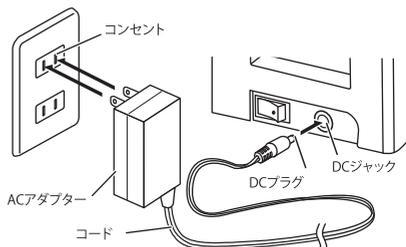
お使いになる前に

1. 電源スイッチとオートフィードカッターのセンサースwitchを「OFF」にしてください。

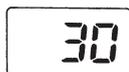


電源「ON」のままですと、誤ってキーを押したとき作動して危険です。

2. オートフィードカッターのコネクタを本体に差し込んでください。
3. ACアダプターのDCプラグをDCジャックに差し込み、ACアダプターをコンセントに差し込んでください。



4. 電源スイッチを「ON」にします。
始めの表示「30」が表示されます。
登録できるテープの最低の長さ「30mm」の意味です。



CM MM

テープのセット

1. リール(軸)を、後方へ引き抜き、はずします。
2. テープをリールにはめ込み、テープをはがした際、粘着面が下側になるよう本体にセットします。

※テープがリールの中央に位置するようにセットしてください。曲がった状態でセットするとテープがつかまる場合があります。

- テープ内径が合わない場合は19・35ページ参照ください。
- テープ外径が合わない場合は別売部品「リールスタンド」で、テープをセットしてください。35・39ページ参照。

3. テープの先端を、送りローラー(銀色のローラー)の中央に貼りつけます。(図1)

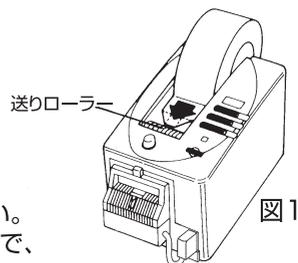


図1

4. 貼りつけたテープの上を指で軽く押さえながら送りキー↓を少しずつ、数回に分けて押しテープを送ります。(図2)

※送りキー↓を押している間だけテープが送られます。

- テープが出てこないときは、18ページを参照してください。

5. オートフィードカッターユニットのテープ出口から、テープを3~4cm程度出してください。

6. カットキー✕を押してください。
テープがカットされますので、カットされたテープを取り除いてください。(図3)

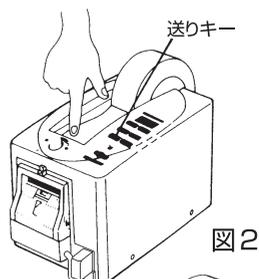


図2

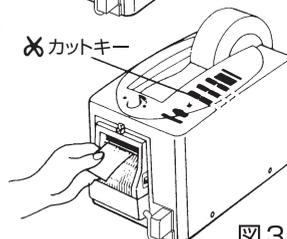


図3

プレッシャーつまみの調整

プレッシャーつまみは、テープが正しく送り出されるように、テープを押さえているローラーの圧力を調整するための機能です。

テープを押える圧力

弱い



テープを押える圧力

強い



1. テープの材質・性質にあわせて、テープを押える圧力を調整してください。

| テープの種類 | プレッシャーつまみの調整目安 |
|---|----------------|
| セロテープ® クラフト粘着テープ 布粘着テープ | |
| 片面はくり紙付き両面テープ (厚さ0.5mm以下) クレープテープ | |

2. 送りキー▼を押し、テープを出して調子を確認してください。

3. 次のような場合、プレッシャーつまみの調整が、テープの材質・性質に合っていないことがあります。状況に応じて調整してください。

| 状 況 | 押さえ圧力 | プレッシャーつまみの調整 |
|---------------|-------|--------------|
| テープが出てこないで詰まる | 弱すぎる | (H)の方向へ強める |
| | 強すぎる | (S)の方向へ弱める |
| テープがカールして出る | 弱すぎる | (H)の方向へ強める |
| テープが垂れ下がって出る | 強すぎる | (S)の方向へ弱める |
| テープに強い筋目が刻まれる | 強すぎる | (S)の方向へ弱める |

※テープを正しく送り出すために、ある程度の押さえ圧力が必要です。テープの種類により、プレッシャーつまみで調整しても筋目が出る場合があります。

使いかた

テープ長さの設定

一定の長さで切るために、寸法を設定します。

1. サイズキー **CM** **MM** を押して、必要な長さに設定してください。

■ **MM** を押すと、0mm～9mmまでの、下1桁のmmの数字だけ変更できます。

■ **CM** を押すと、3cm～99cmまでの、上2桁のcmの数字だけ変更できます。

■ サイズキーを、押しつづけると、数字を早送りできます。

※設定可能範囲は30mm～999mmまでです。

始めの30mm以下に設定したい場合は15mmからの特注機をご用意出来ますので販売店にご注文ください。設定範囲15mm～999mm。

※設定した数字は、バックアップ機能により電源を切っても消えません。

※ **MM** キーを押しながら **CM** キーを押すと始めの30mmの表示に戻ります。

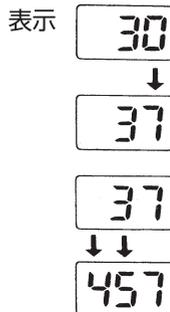
30mmの表示に戻りましたら **MM** キーから先に指をはなしてください。

(**CM** キーを先にはなすと **MM** キーの数字が変更されます。)

【例】457mm (45.7cm) にセットする。

① **MM** キーを押して、下1桁を「7」に変更します。

② **CM** キーを押し続けて早送り、上2桁を「45」に変更します。



テープ長さの設定リセット

1. オートフィードカッターのセンサースイッチを「OFF」にしてください。

2. **MM** キーを押しながら **CM** キーを押して、始めの表示 **30** に戻してください。

手動送り(キー操作)で使用する

1. オートフィードカッターユニットのセンサースイッチをOFFにします。

2. オートキーを押してください。

3. 設定した長さのテープが1枚送り出されて、カットされます。

※設定した長さ以外に、いろいろな長さで出す場合は、送りキー **▼** と、カットキー **✂** を利用してください。

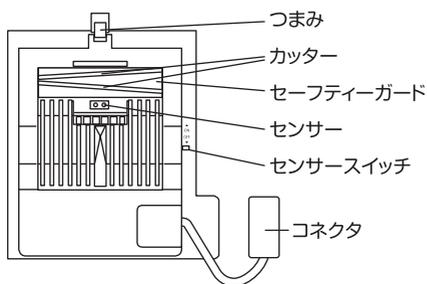
※テープ長さ(設定数字)を長くした場合、送り出されたテープが、本機設置台に付着しますので注意してください。

自動送り(オートフィード)で使用する

センサーを利用して、自動送りができます。

1. オートフィードカッターユニットのセンサースイッチをONにします。
2. 設定した長さのテープが1枚送り出されてカットされます。
3. 出口のテープを取り除いてください。
4. 次のテープが1枚出てきてカットされます。

オートフィードカッターユニットのしくみ



■カッター(刃)と、センサーが一緒になったユニット部品です。

■センサーは、テープ出口にテープがあるか、無いかを検知する機能があります。(スイッチONの時)

■テープが無いと検知したとき、本体に、次のテープの送り出しとカットを指令します。

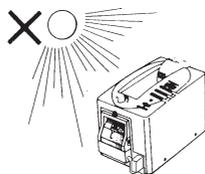
※セーフティーガード機構 12 ページ

⚠ 注意 透明度の高いテープではこの機能が使えない場合があります。

※光源の種類によって異なりますが、明るい場所でご使用になりますと、センサーが誤作動することがあります。

センサーの機能を妨げない明るさの目安

- 蛍光灯 3,000 lx 以下
- LED 照明 10,000 lx 以下
- 太陽光 10,000 lx 以下



※オートフィードカッターユニットをお取り扱いの際は、コネクタ部のピンが折れたり、曲がったりしないよう十分注意して下さい。

使いかた

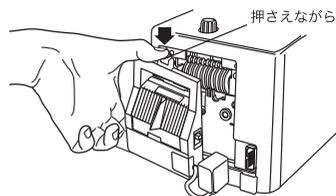
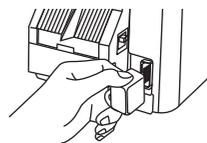
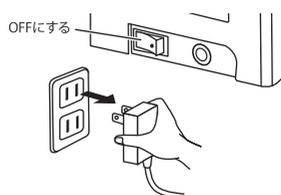
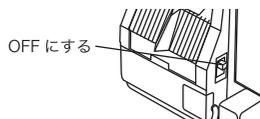
Error 解除方法は →
こちらの動画から



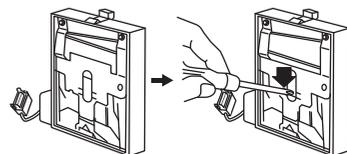
エラー表示「Err」「---」の解除方法

■ご使用中にテープが詰まったり、異物を挟み込んだりした場合に発生したエラー表示の解除方法の説明です。

- ① 「Err」「---」表示部が点滅していることを確認してください。
- ② オートフィードカッターユニットのセンサースイッチを「OFF」にしてください。
- ③ 本体メイン電源を「OFF」にする。
- ④ コンセントからアダプターを抜く。
- ⑤ コネクタを抜く。
- ⑥ オートフィードカッターユニットを外し詰まったテープを取り除いてください。ドライバー等の工具でカッターとセーフティガードを（一度、一番上まで上げてから）定位置まで戻し、本体にセットする。
- ⑦ オートフィードカッターユニットの下部を本体に合わせてから上部を押し込んでください。
※オートフィードカッターを装着する場合は、コードを引っ張らないでください。コードが断線する恐れがあります。
⑤ → ④ → ③ → ② → の手順で元に戻す。
- ⑧ リセットキーを1回押す。
→表示部に設定寸法値が点滅表示されます。※右図参照
- ⑨ リセットキーをもう1回押す。
→正常に作動する状態に復旧します。



刃が上がったままの状態 刃を定位置まで下げる



※図は設定値を「30」にしていた場合



※上記の解除方法を行っても「Err」「---」が解除されない場合は20・21ページを参照してください。

セーフティーガード機構について

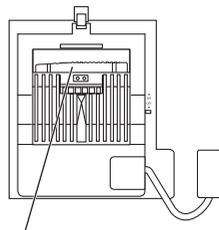
■セーフティーガードとは、カッター作動時にオートフィードカッター内にテープ以外の異物を検知した場合、カッターの作動を停止させる装置です。

※テープ出口にテープ以外の物が挟まるとセーフティーガードがカッターの作動を停止させ表示部にErrの表示が点滅します。

※セーフティーガードが上がっている状態でオートフィードカッターを本体にセットし、AUTOキー、送りキーを押すか又は、センサースイッチをONにすると表示部に --- が点滅します。



テープの出口に指をいれない
カッター刃に触れてケガをすることが
あります。

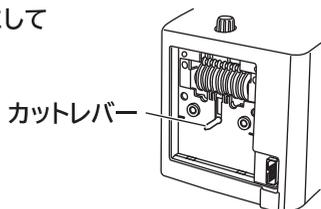


セーフティーガードが上がっている状態

カットレバーが上がってしまいオートフィードカッターユニットの取り付けが出来ない場合

■動作中、停電等で意図せず電源がOFFになり、表示部が --- 点滅表示しているなど。

1. オートフィードカッターユニットのセンサースイッチをOFFにしてオートフィードカッターユニットを外してください。
2. 本体のカットレバーが上がってしまっているか確認してください。
3. オートフィードカッターユニットのカッター刃上下動作の穴にドライバーなどを差し込み、カッターとセーフティガードを（一度、一番上まで上げてから）定位置まで戻してください。
4. リセットキーを1回押してください。表示部に設定寸法値が点滅表示されます。
5. リセットキーをもう1回押してください。正常に作動する状態に復旧します。
6. オートフィードカッターユニットのコネクターのみを本体へ差し込んでください。
7. カットボタンを1回押すとカットレバーが下がり、セーフティガードが上がります。
※セーフティガードが上がった状態でカッターボタンを押すと表示部が --- となります。
8. オートフィードカッターユニットのカッター刃上下動作の穴にドライバーなどを差し込み、カッターとセーフティガードを（一度、一番上まで上げてから）定位置まで戻してください。
9. オートフィードカッターユニットを本体へ取り付けてください。



キーを押しても反応がない場合の対処方法(電気ノイズによる異常等の解除)

電氣的ノイズ等により「Err」が発生したり、送り出しキーが反応しなくなったりする場合一度電源を「OFF」にし、リセットキーを押しながら、再び電源を「ON」にしてください。
※それでも症状が変わらない場合は、販売店へご相談ください。

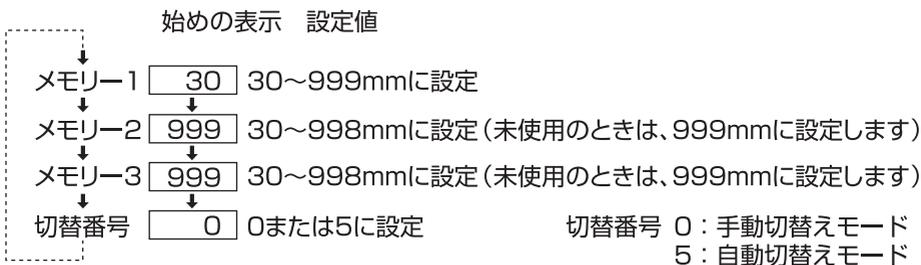
使いかた (TCE 700 シーケンスタイプ)

■このページはTCE-700シーケンスタイプ独自の使い方についての説明です。

3種類の長さの登録

3種類の長さで切るために、寸法を設定します。

●長さを登録するメモリーは、次のような順序で表示されます。



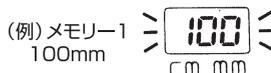
1. オートフィードカッターユニットのセンサースイッチをOFFにしてください。長さを設定中にカッターが動く
と危険です。

2. メモリー／リセットキー M/RESET を、表示が点滅を始めるまで押し続けてください。



※表示点滅中は、メモリー登録のモードになります。

3. サイズキー CM MM を押してメモリー1に登録する
長さを設定してください。



●サイズキー CM MM の使いかたは、
9 ページ「テープ長さの設定」を参照してください。

■このページはTCE-700シーケンスタイプ独自の使い方についての説明です。

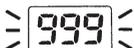
4.メモリー／リセットキーM/RESETを押します。表示は、「999」になります。999は、次の「メモリー2」の始めの値です。

M/RESET 

5.サイズキー **CM mm** を押して、メモリー2に登録する長さを設定してください。

(例)メモリー2
200mm 

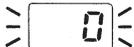
6.メモリー／リセットキーM/RESETを押します。表示は、「999」になります。999は、次の「メモリー3」の始めの値です。

M/RESET 

7.サイズキーを押して、メモリー3に登録する長さを設定してください。

(例)メモリー3
300mm 

8.メモリー／リセットキーM/RESETを押します。切替番号「0」が表示されます。

M/RESET 

9.自動切替モードで使用するときには、**mm**キーを押してください。切替番号が「5」になります。



10.メモリー／リセットキーM/RESETを、表示の点滅が止まるまで押し続けます。メモリー1が表示されて、点滅が、止まります。

M/RESET 

11.オートフィードカッターユニットのセンサースイッチをONにするか、オートキーを押して、テープを出してください。始めにメモリー1の長さのテープが出ます。その次にメモリー2の長さ、メモリー3の長さで順次繰り返します。

※一度メモリーをした後、長さを変更する時は、メモリーの始めの値「999」の表示ではなく以前にメモリーされた長さが表示されます。

使いかた (TCE 700 シーケンスタイプ)

■このページはTCE-700シーケンスタイプ独自の使い方についての説明です。

登録した長さの変更

● 全部やりなおすとき

本体の電源を一度、OFFにした後、メモリー／リセットキー M/RESET を押したまま電源をONにします。

OFF ON



+

M/RESET

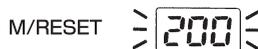
● 一部変更するとき

(例) メモリー2を500mmに変更する

1. メモリー／リセットキー M/RESET を、表示が点滅を始めるまで押し続けてください。



2. メモリー／リセットキー M/RESET を、一回ずつ押して変更したいメモリーを表示させます。



3. サイズキーで設定を変更します。

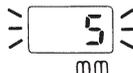


4. メモリー／リセットキー M/RESET を、表示の点滅が止まるまで押し続けます。メモリー1が表示されて、点滅が止まります。

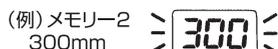
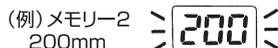
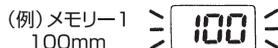


メモリーを自動切替えで使用する

1. 13ページの「3種類の長さの登録」の方法を参照して長さを登録します。



2. 切替番号を「5」にセットしてください。

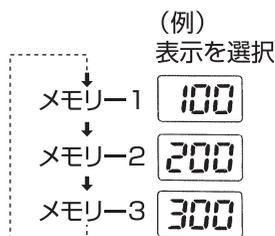


■このページはTCE-700シーケンスタイプ独自の使い方についての説明です。

メモリーを手動切替えで使用する

1. 13ページ～14ページの「3種類の長さの登録」の方法を参照して長さを登録します。
2. 切替番号を「0」にセットしてください。
3. 登録が終わったら（表示が点滅していない状態）メモリー／リセットキーM/RESETを1回ずつ押すごとにメモリー1、メモリー2、メモリー3の設定長さが表示されますので、使用したい長さを選択して表示させてください。
4. 常に、現在表示されている長さのテープがでます。

(例) 右の例で、メモリー2を表示しておくとき常に200mmのテープが出ます。



5. 他のメモリーに設定した長さを表示するときは、メモリー／リセットキーM/RESETを押して切り替えてください。

※自動切替えから手動切替えに、または手動切替えから自動切替えにする時は、メモリー／リセットキーM/RESETを点滅するまで押し、点滅した後メモリー／リセットキーM/RESETを切り替え番号「0」または「5」が表示されるまで押します。
自動切替えは、「5」手動切替えは、「0」をmmキーで選択します。
メモリー／リセットキーM/RESETを点滅が終わるまで押し続けてください。

| | |
|----|--|
| 備考 | <ol style="list-style-type: none">1. 設定した長さは、本体の電源を切りメモリー／リセットキーM/RESET を押しながら電源を入れると始めの値にもどります。2. 設定した長さは、電源を切ってもバックアップ機能によって残ります。3. 2種類の長さでご使用の場合は、メモリー3を「999」にしてください。 |
|----|--|

使いかた (TCE 700 シーケンスタイプ)

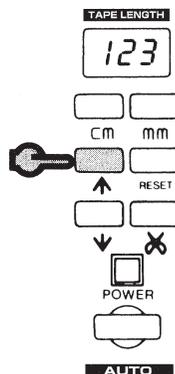
注
意



部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、ACアダプターをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

テープの交換方法

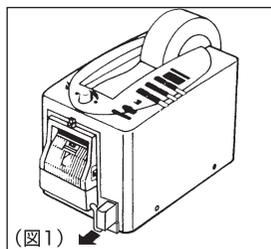
1. オートフィードカッターのセンサースイッチを「OFF」にしてください。
2. テープを逆転させリバースキー⇕を、少しずつ押してください。
3. テープを交換してください。



オートフィードカッターユニットの交換方法

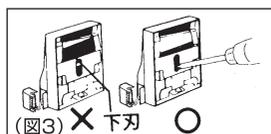
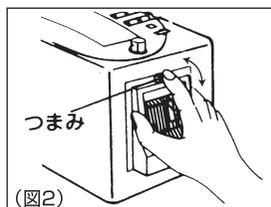
■取りはずし方法

1. センサースイッチを「OFF」にしてください。
2. コネクタカバーを持ちコネクタをまっすぐに引き抜きます。(図1)
3. オートフィードカッターユニットの上のつまみを押さえながら手前に引くと、はずれます。(図2)
※はずす際はコネクタコードを引っ張らないでください。コードが断線する場合があります。



■セット方法

1. センサースイッチを「OFF」にしてください。
2. カッターの下刃が下に下がっていることを確認してください。下刃が上がっている場合は、オートフィードカッターユニットのカッター刃上下動作の穴にドライバーなどを差し込み、カッターとセーフティガードを(一度、一番上まで上げてから)定位置まで戻してください。
☞ 5 ページ (オートフィードカッター裏側) 参照
3. オートフィードカッターユニットの下部を本体に合わせてから、上部を押し込んでください。
※オートフィードカッターを装着する際は、コードを引っ張らないでください。コードの断線につながります。
4. コネクタを差し込んでください。
※コネクタピンが折れたり、曲がったりしないよう十分注意してください。又、コネクタ装着の際は、コネクタカバーをはずさないでください。



こんなとき

●故障かな?と思った時は、修理をご依頼の前に、下記の点をお調べください。

注意



異常がある場合は、ご自分で修理をしないでください。
異常作動などにより、ケガをすることがあります。

| 症 状 | 要 因 | 処 置 |
|-------------------|--|--|
| テープが出て こない・詰まる | カッター(刃)が正しくセットされていますか? (替刃の交換をしましたか?) | オートフィードカッターユニットを はずして、正しくセットしなおして ください ☞17・36ページ参照 |
| | オートフィードカッターユニットの 中にテープが詰まっていますか? | オートフィードカッターユニットを はずして、確認してください ●詰まったテープの取り出ししかた ☞22ページ参照 |
| | テープが、出口の上側に当たるとき (押さえる圧力が不足しています) | プレッシャー(圧力)つまみを(H) の方向へ強めてください または、はくりローラーが摩耗して いるので交換してください |
| | テープが、出口の下側に当たるとき (押さえる圧力が強すぎます) | プレッシャー(圧力)つまみを(S) の方向へ弱めてください |
| | テープが、はくりローラーと一緒に 巻き込んでしまうとき | プレッシャー(圧力)つまみを(S) の方向へ弱めてください |
| | テープの粘着剤が、シリコン系の時 | そのテープは使用できません |
| | テープをセットしたまま長時間使用 していないとき テープが貼りついて いることがあります | オートフィードでご使用の場合は はじめに、送りキー▼で少しテー プを送り出してからご使用ください |
| | テープ巻からテープをはがす時に、 強い力が必要ではありませんか? | テープ巻からはがしにくいテー プは、使用できない場合があります |
| テープが切れ ない | カッター(刃)に粘着剤がついてい ませんか? | 除光液やアルコールなどで拭いて 粘着剤を取り除いてください |
| | テープの切り口が不揃いですか? 但し、テープの特性によっては、発生 する場合もあります | カッター(刃)が摩耗していますの で交換してください ☞17・36ページ参照 |
| | カッター(刃)を時々、交換していま すか? | |
| | カッター(刃)が正しくセットされて いますか? (替刃の交換をしましたか?) | オートフィードカッターユニットを はずして、正しくセットしなおして ください ☞17・36ページ参照 |
| | オートフィードカッターユニット裏の、 カッタースプリング(板)のネジが ゆるんでいませんか? | |

こんなとき

注意



異常がある場合は、ご自分で修理をしないでください。
異常作動などにより、ケガをすることがあります。

| 症 状 | 要 因 | 処 置 |
|--------------------------------|--|---|
| テープがカールする | テープを押さえる圧力が不足しています | プレッシャー（圧力）つまみを（H）の方向へ強めてください または、はくりローラーが摩耗しているので交換してください ☞ 38ページ参照 |
| テープの長さが設定どおりに切れない | 両面テープのとき （設定長さより長めになります） | 別売部品「アタッチメント」で補正できます ☞ 37ページ参照 |
| | 紙テープのとき （設定長さより長めになります） | |
| | 粘着力の弱いテープのとき （設定長さに対してバラツキます） ※保護フィルムテープなど | |
| | テープ幅が細いとき （テープ蛇行し斜めに切れます） | 別売部品「テープ押さえガイド」で補正できます ☞ 37ページ参照 |
| | 伸び縮みするテープのとき （設定長さより短かめになります） | 伸び縮みするテープや、粘着力の弱いテープは、一定の長さには送れないので、正確にカットすることはできません |
| 自動送り（オートフィード）にならない（キー操作はできるとき） | 本体の電源は入っていますか？ | AC アダプター、電源スイッチを確認してください |
| | オートフィードカッターユニットのコネクタが差し込まれていますか？ | コネクタを正しく差し込んでください |
| | オートフィードカッターユニットのスイッチが「ON」ですか？ | センサースイッチを「ON」にしてください |
| | センサー部分が汚れていませんか？ | 綿棒や歯ブラシなどで汚れを取り除いてください |
| | すべて確認したのに作動しないとき | 故障が考えられます オートフィードカッターユニットを交換してください |
| テープをリールにはめてもテープがガタつく | テープの内径は、製造メーカーにより異なるので、あわない場合があります | リールにテープを巻くなどして、リールの径を調整してください 特注リールをご希望の場合は、販売店にご相談ください |
| オートフィードカッターユニットが、はずれる | オートフィードカッターユニット裏のカッタースプリング（板）のネジがゆるんでいませんか？ | はずして、確認してください ☞ 17・36ページ参照 |
| オートフィードカッターユニットが、はまらない | カットレバーが上がっていませんか？ | カットレバーを下げてください。 ☞ 12ページ参照 |

注意



異常がある場合は、ご自分で修理をしないでください。
異常作動などにより、ケガをすることがあります。

| 症 状 | 要 因 | 処 置 |
|--|---------------------------------|---|
| 自動送り（オートフィード）が止まらずに、テープが出続ける  スイッチを、OFFにして止めてください | テープがセンサーの中央を通っていますか？ | テープがセンサーの中央上を通るようにセットしてください 別売部品 「テープ押さえガイド」で、補正できます ☞ 37ページ参照 |
| | 照明器具などの、強い光源が近くにありませんか？ | 強い光源から離すか、センサーを光源の方へ向けないように設置してください ☞ 10ページ参照 |
| | 透明なテープのとき | 透明度が高いと、センサーが検知できないことがあります |
| | 黒いテープのとき | 販売店にご相談ください |
| | 上にカールするテープのとき | 販売店にご相談ください |
| | テープの種類にかかわらず、止まらないとき | センサーの故障が考えられますので、オートフィードカッターユニットを交換してください |
| プレッシャーつまみが動かない | (H)か(S)のどちらかの方向にいっぱいまで回していませんか？ | つまみを持ち上げるようにして、回してみてください |
| どのキーを押しても全く動かない何も表示しない | 本体の電源が入っていますか？ | ACアダプター、電源スイッチを確認してください |
| | ACアダプターの故障です | 販売店にご相談ください |
| | すべて確認したのに作動しないとき | 電磁波（ノイズ）によりフリーズしている可能性があります ☞ 12ページ参照 |
|  と表示される | テープが詰まっていますか？ | テープを取り除いて、リセットキーを2度押してください |
| | 作動させるとすぐErrになる | 作動させた部品の故障です 修理依頼してください |
| | 高温になる場所で使用していませんか？ | 制御基盤は熱に弱いので、高温のため異常を示すことがあります |
| | しばらく使用しているうちに、急にErrになったとき | 制御基盤の故障です 制御基盤を交換修理する場合、他の修理より高額になります |
| | すべて確認したのに作動しないとき | 何かの衝撃で本体カバーがずれている可能性があります 販売店にご相談ください |

注意



異常がある場合は、ご自分で修理をしないでください。
異常作動などにより、ケガをすることがあります。

| 症 状 | 要 因 | 処 置 |
|------------------------|---|---|
| Err と表示される | オートフィードカッターにテープ以外の物を挟んでいませんか？ | 挟んでいる物を取り除きリセットキーを2度押ししてオートフィードカッターユニットのロックを解除してください 〔P 11ページ参照〕 |
| | ご使用中にセーフティーガードが、上がった状態で作動しなくなった | コネクタをまっすぐ確実に差し込んでください |
| | コネクタの接触不良 | コネクタのピンが曲がっている |
| | コネクタのピンが曲がっている | 修理依頼してください |
| --- と表示される | モーターの過負荷による作動不良です | 電源を切り涼しいところでしばらく放置してください |
| | カットする度にセーフティーガードが上がってしまう | オートフィードカッターユニットのカッター刃上下動作用の穴にドライバーなどを差し込み、カッターとセーフティガードを（一度、一番上まで上げてから）定位置まで戻した後、本体に戻し、リセットキーを2回押しして解除し、カットキーを押してください |
| | セーフティーガードが上がっている状態でオートフィードカッターユニットを本体にセットした | カットレバーを下げてください。〔P 12ページ参照〕 |
| まったく動かない 又は 異常表示 | カットレバーが上がっている | リセットキーを2度押ししてください ※それでも作動しない場合は修理依頼してください |
| | まったく動かない 又は 異常表示 | 他電気製品が近くにありませんか？ 内蔵のコンピューターに電磁波などのノイズが加わった事が考えられます |

ご使用上、「Err」と表示され解除できない場合

オートフィード機能使用時、停電などで突然電源が切れた場合など

電源が切れた後、電源を入れセンサー上のテープを取り、テープ送り動作後、カチカチカチと6回音がしカットせずに停止し、表示の「Err」が点滅した場合

1. センサー上にテープがあるなしにかかわらずテープをリバーブさせ、送りローラーからテープを外してください。（その後、「リセットキー」を2回押ししても「Err」は解除されず、送り動作し、カチカチカチと6回音、「Err」表示の繰り返しになります。）
2. センサースイッチはONの状態、オートフィードカッターユニットを外してください。
3. オートフィードカッターユニットのカッター刃上下動作用の穴にドライバーなどを差し込み、カッターとセーフティガードを（一度、一番上まで上げてから）定位置まで戻してください。
〔オートフィードカッターユニットの交換方法〕の「セット方法」〔P 17ページ参照〕
4. 「リセットキー」を2回押ししてください。送りローラーが回転し、同時にソレノイドが1回動作しセーフティガードが上がった位置になります。その直後、作動軸が上下に一往復します。この時の表示は「Err」が「---」に変わり点滅します。
5. オートフィードカッターユニットのカッター刃上下動作用の穴にドライバーなどを差し込み、カッターとセーフティガードを（一度、一番上まで上げてから）定位置まで戻してください。
6. オートフィードカッターユニットを本体に装着してください。
7. 「リセットキー」を2回押ししてください。電源が切れた前の状態に作動復帰します。
※それでも「Err」、「---」表示を解除しない場合は、修理依頼してください。

注意



必ず電源をOFFにしてください。カッターが作動して危険です。刃に触れないでください。ケガをします。

テープが詰まったときの取り出し方

1. リバースキー \blacktriangleleft を、少しずつ押してテープを逆転させてください。
2. セットされているテープを送りローラーからはずしてください。
3. 戻した部分をハサミなどでカットしてください。

■ テープが戻らないときは

1. 電源スイッチをOFFにしてください。
2. テープの途中を、ハサミなどで切ってください。
3. 出口付近に詰まったテープを、ピンセットなどで、取り除いてください。

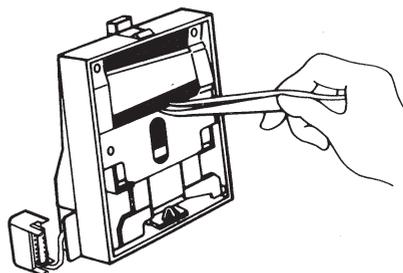
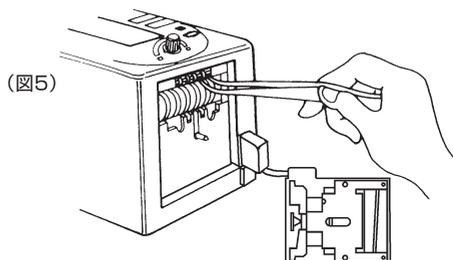
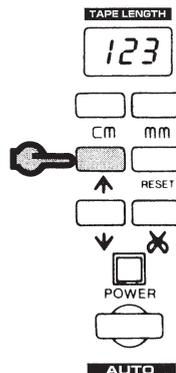
■ オートフィードカッターユニットの中のカッターのすきまに、テープが詰まることがありますので、調べてください。

1. センサースイッチを「OFF」にしてください。
2. オートフィードカッターユニットをはずしてください。(図5)

●はずしかた 17ページ

3. ウラ側の刃のすきまを確認してください。
4. テープを取り出すときは、直接手を触れずに、ピンセットなどを利用して、ケガをしないようご注意ください。

●オートフィードカッターユニットの戻し方 17ページ

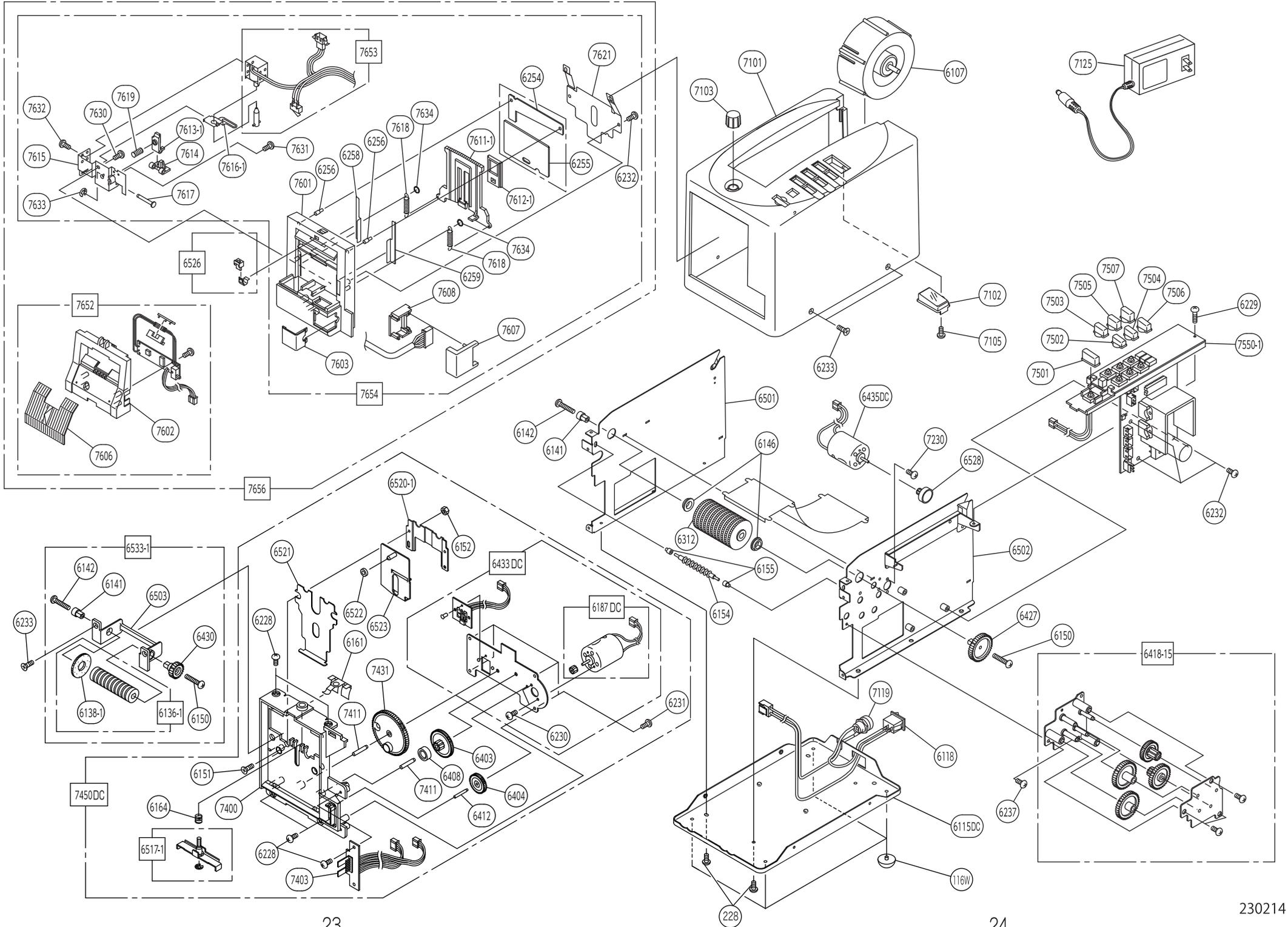


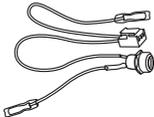
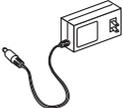
※セーフティガードを下げてください。セーフティガードを上げたまま装着すると、---表示になります。

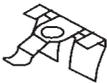
注意

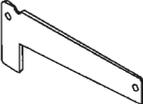


必ず電源をOFFにしてください。カッターが作動して危険です。刃に触れないでください。ケガをします。

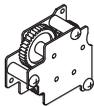


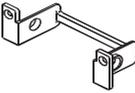
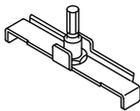
| 部品番号 Parts No. | 部品名(注文番号) Parts Name | 略図 Illust | 重さ Weight | 備考 Note |
|-------------------|-------------------------------|---|--------------|------------------|
| 7101 | 本体カバー |  | 309g | |
| 7102 | フィルター |  | 1.6g | |
| 7103 | プレッシャーつまみ |  | 1.8g | |
| 7105 | タップタイトねじ |  | 0.5g | B3×6mm フィルター用 |
| 6107 | トリプルリールユニット (TCE700-60031) |  | 40g | |
| 6108 | 1インチリール |  | 48g | |
| 6115DC | 底板 |  | 260g | |
| 6116 | 足ゴムユニット |  | 2g | |
| 6118 | パワースイッチ |  | 5g | |
| 7119 | DCジャックユニット |  | 7g | |
| 7125 | ACアダプターJIS/UL |  | 173g | |

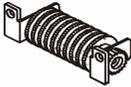
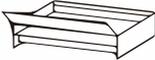
| 部品番号 Parts No. | 部品名(注文番号) Parts Name | 略図 Illust | 重さ Weight | 備考 Note |
|-------------------|-------------------------------------|---|--------------|------------|
| 6136-1 | 剥離ローラーユニット (新) (TCE700-60042) |  | 60 g | |
| 6138-1 | 剥離ローラーリング (新) (TCE700-60041) |  | 2 g | |
| 6141 | ローラー軸 |  | 2 g | |
| 6142 | タッピンナベ |  | 1 g | 3×20mm |
| 6146 | 軸受け |  | 1 g | |
| 6150 | タッピンナベ |  | 1 g | 3×25mm |
| 6151 | 小ねじナベ |  | 1 g | 3×8mm |
| 6152 | ナット |  | 1 g | 3mm |
| 6154 | 押さえローラー |  | 10 g | |
| 6155 | 押さえローラーカラー |  | 1 g | |
| 6161 | カッターホルダー スプリング |  | 2 g | |

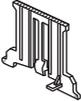
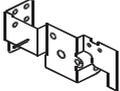
| 部品番号 Parts No. | 部品名(注文番号) Parts Name | 略図 Illust | 重さ Weight | 備考 Note |
|-------------------|-------------------------|---|--------------|------------|
| 6164 | ラベル押さえ スプリング |  | 2g | |
| 6187DC | カットモーター ユニット-22 |  | 51g | |
| 6228 | タップタイトナベ |  | 1g | 3×8mm |
| 6229 | タッピンナベ |  | 1g | 3×14mm |
| 6230 | 小ねじナベ |  | 1g | 2.6×3mm |
| 6231 | タッピンナベ |  | 1g | 3×10Amm |
| 6232 | 小ねじナベ |  | 1g | 3×5mm |
| 6233 | タップタイト丸皿 |  | 1g | 3×8mm |
| 6237 | タップタイトナベ |  | 1g | 3×5mm |
| 6254 | カッター1 (TCE700-60030) |  | 42g | |
| 6255 | カッター2 |  | | |

| 部品番号 Parts No. | 部品名(注文番号) Parts Name | 略図 Illust | 重さ Weight | 備考 Note |
|-------------------|---------------------------|---|--------------|------------|
| 6256 | カッター止めシャフト |  | 2 g | |
| 6258 | カッターライナー右 |  | 1 g | |
| 6259 | カッターライナー左 |  | 1 g | |
| 6289 | シリコンオイル (TCE700-60023) |  | 5 g | |
| 6290 | 包装袋 | | 6.5 g | |
| 6296DC | 定格ラベル (和文) |  | 0.7 g | |
| 6304 | ON・OFFラベル |  | 0.06 g | |
| 6312 | 送りローラー |  | 186 g | |
| 7400 | 前面ホルダー |  | 44.3 g | |
| 7403 | 前面コネクタ-2 |  | 7.6 g | |
| 6403 | 平歯車15 |  | 5 g | |

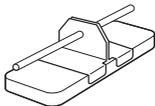
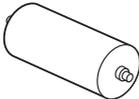
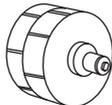
| 部品番号 Parts No. | 部品名(注文番号) Parts Name | 略図 Illust | 重さ Weight | 備考 Note |
|-------------------|--|---|--------------|------------|
| 6404 | 平歯車16 |  | 2g | |
| 6408 | カラー2 |  | 6g | |
| 7411 | 平歯車軸21 |  | 1g | |
| 7412 | 平歯車軸22 |  | 1.5g | |
| 6418-15 | ギヤ取り付け板ユニット-15 (TCE700-641815) |  | 62g | |
| 6427 | 送りローラーギヤ |  | 5g | |
| 6430 | 剥離ローラーギヤ |  | 2g | |
| 7431 | カッターギヤユニット2 |  | 12g | |
| 6433DC | カッター部ギヤカバー ユニット-22 (TCE700-643322) |  | 80g | |
| 6435DC | 送りモーターユニット-22 (TCE700-643522) |  | 75g | |
| 7450DC | 前面ホルダー ユニット-22 (TCE700-745022) |  | 169g | |

| 部品番号 Parts No. | 部品名(注文番号) Parts Name | 略図 Illust | 重さ Weight | 備考 Note |
|-------------------|-------------------------|---|--------------|------------|
| 6501 | 側板2左ユニット |  | 155g | |
| 7501 | オートボタン |  | 0.8g | |
| 6502 | 側板3右ユニット |  | 175g | |
| 6503 | 剥離ローラーホルダー |  | 5g | |
| 7502 | スイッチボタン1 |  | 0.5g | |
| 7503 | スイッチボタン2 |  | 0.5g | |
| 7504 | スイッチボタン3 |  | 0.6g | |
| 7505 | スイッチボタン4 |  | 0.6g | |
| 7506 | スイッチボタン5 |  | 0.7g | |
| 7507 | スイッチボタン6 |  | 0.7g | |
| 6517-1 | ローラー押さえユニット |  | 15g | |

| 部品番号 Parts No. | 部品名(注文番号) Parts Name | 略図 Illust | 重さ Weight | 備考 Note |
|-------------------|--------------------------------------|---|--------------|------------|
| 6520-1 | カットレバー押さえ |  | 10g | |
| 6521 | カットレバーライナー2 |  | 20g | |
| 6522 | カットレバーシャフト カラー |  | 2g | |
| 6523 | カットレバー2ユニット |  | 23g | |
| 6526 | オープンセット |  | 8g | |
| 6528 | ビニオンギヤ2ユニット |  | 10g | |
| 6533-1 | 剥離ローラーホルダー ユニット (TCE700-60043) |  | 66g | |
| 6535 | アタッチメント |  | | |
| 7550-1 | 制御盤ユニット2 |  | 137g | |
| 7601 | カッターホルダー |  | 44.8g | |
| 7602 | センサーカバー |  | 14g | |

| 部品番号 Parts No. | 部品名(注文番号) Parts Name | 略図 Illust | 重さ Weight | 備考 Note |
|-------------------|-------------------------|---|--------------|------------|
| 7603 | コネクターリード |  | 2g | |
| 7606 | 密着防止カバー |  | 4.7g | |
| 7607 | コネクター3 |  | 3.1g | |
| 7608 | コネクター4 |  | 2.4g | |
| 7611-1 | シャッター2 |  | 9.1g | |
| 7612-1 | スライダー2 |  | 1.8g | |
| 7613-1 | ストッパー2 |  | 0.6g | |
| 7614 | リムーバー |  | 0.7g | |
| 7615 | ブラケット |  | 11.1g | |
| 7616-1 | ムーバー2 |  | 2.5g | |
| 7617 | ストッパーシャフト |  | 3g | |

| 部品番号 Parts No. | 部品名(注文番号) Parts Name | 略図 Illust | 重さ Weight | 備考 Note |
|-------------------|-----------------------------------|---|--------------|----------------------|
| 7618 | シャッターSpring |  | 0.7 g | |
| 7619 | リターンSpring |  | 0.2 g | |
| 7621 | カッターSpring |  | 12.5 g | |
| 7630 | タップタイトねじ |  | 1 g | B3×8mm ブラケット用 |
| 7631 | タップタイトねじ |  | 1 g | B2×10mm マイクロスイッチ用 |
| 7632 | 十字穴付きねじ |  | 1 g | M2.6×3mm ソレノイド用 |
| 7633 | Eリング |  | 0.1 g | ストッパー シャフト用 |
| 7634 | Oリング 抜け止め |  | 0.1 g | |
| 7652 | センサーユニット (TCE700-7652) |  | 21 g | |
| 7653 | ソレノイドユニット (TCE700-7653) |  | 22.2 g | |
| 7654 | カッターホルダー ユニット (TCE700-7654) |  | 153 g | |

| 部品番号 Parts No. | 部品名(注文番号) Parts Name | 略図 Illust | 重さ Weight | 備考 Note |
|-------------------|-----------------------------|--|--------------|--------------------|
| 7656 | オートフィードカッター ユニット |  | 184.7 g | |
| 6534-1 | テープ押さえガイド (TCE700-60040) |  | | |
| | リールスタンド24 (TCE700-RST24) |  | | |
| | リールスタンド35 (TCE700-RST35) |  | | パワーリールが必要です |
| | φ32リール (TCE700-60036) |  | | |
| | パワーリール (TCE80012) |  | | リールスタンド35が 必要です |
| 7906 | 取扱説明書(和文) |  | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

別売部品・消耗品

■下記の別売部品・消耗品は、お買上げの販売店にご注文ください。

| 別売部品名・消耗品名 | このような時におすすめします |
|------------------------|--|
| カッター（替刃） | 切れにくくなる前に定期交換をおすすめします。 |
| はくりローラーユニット | はくりローラーは消耗品です。定期交換をおすすめします。 |
| オートフィードカッターユニット | センサーが故障することがあります。 |
| テープ押さえガイド （マグネット付き） | テープ幅の細いテープをご使用のとき、センサーからはずれやすいテープのとき、テープ走行の補正に効果的です。 |
| アタッチメント （マグネット付き） | テープの長さが設定より長くなる時（両面テープ、保護フィルムテープなど）、テープ長さの補正に効果的です。 |
| リールスタンド24（TCE-700用） | テープ外径240mmでの、大巻きテープ用外付けリールスタンド。 |
| リールスタンド35（TCE-700用） | テープ外径350mmでの、大巻きテープ用外付けリールスタンド。 |
| パワーリール | リールスタンド35をご使用になる場合必要です。 |
| シリコンオイル | 刃にテープの粘着剤がつくとき、粘着剤をよく取り除いてから、刃にシリコンオイルを塗布してください。 |

別売部品の交換方法

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。

注
意



部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、ACアダプターをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

カッター刃の交換

※詳しくは、部品に添付の説明書をお読みください。

1. オートフィードカッターユニットをはずしてください。
オートフィードカッターユニットの交換方法 17ページ

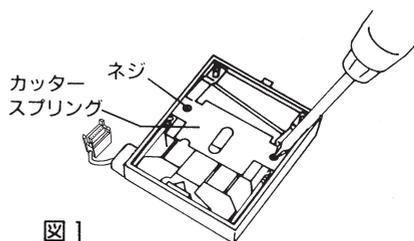


図1

2. ネジ2本をはずし、カッタースプリング(押さえ板)を取り除いてください。(図1)

3. カッターをはずしてください。

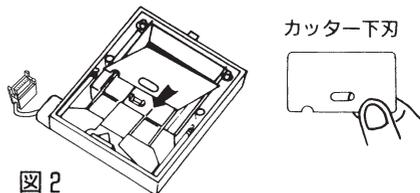


図2

4. カッター下刃をセットします。フッ素コーティング面(ツヤのない黒い面)を上にしてください。半円型の欠けこみが左下になります。(図2)

5. カッター上刃をセットします。塗装面(ツヤのあるほう)を上にしてください。(図3)

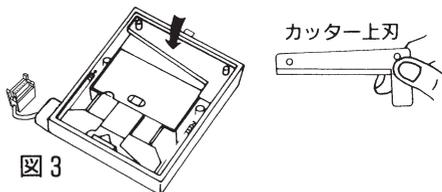


図3

6. カッタースプリング(押さえ板)を戻してください。

7. ネジ2本でとめてください。

※ カッターの向き／表裏を反対にセットするとテープは切れません。

別売部品の交換方法

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。

注
意

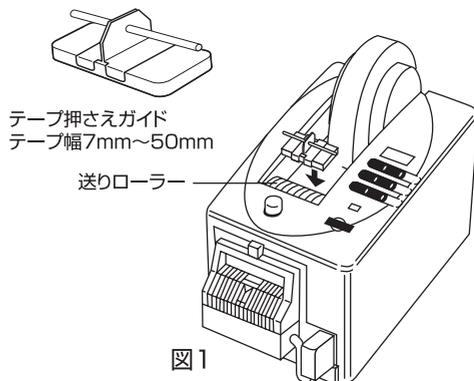


部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、ACアダプターをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

テープ押さえガイドの使用

※ テープ幅の細いテープをご使用のとき、センサーからはずれやすいテープのとき、テープ走行の補正に効果的です。

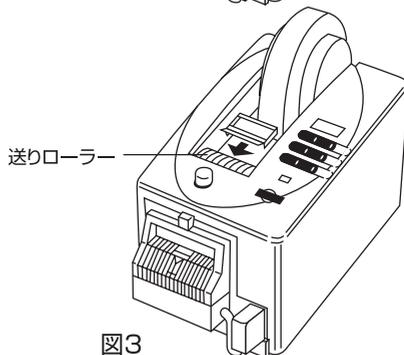
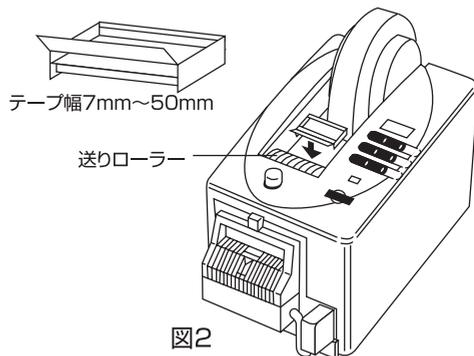
1. 送りローラーと、リールの間の平らな面に貼り付けます。(図1)
2. テープに合わせて、テープが中央を通るように両サイドの金具をスライドさせ位置を決めてください。
3. テープ押さえガイドにテープを通してご使用ください。



アタッチメントの使用

※ テープの長さが設定より長くなるとき、(両面テープ、保護フィルムテープなど) テープの長さの補正に効果的です。

1. アタッチメントにテープを通してから、送りローラーにテープを付着させてください。(図2)
2. アタッチメントを送りローラーと、リールの間の平らな面に貼り付けます。テープが送りローラーに密着するようにマグネットを貼り付けてください。(図3)



■ テープ巻からはがしにくい(強粘着)テープ/テープ幅の細いテープにはご使用出来ません。

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。

注
意



部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、ACアダプターをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

はくりローラーユニットの交換

1. センサースイッチを「OFF」にしてください。
2. オートフィードカッターユニットをはずしてください。
はずしかた 〔P17ページ〕
3. 図1の、矢印のネジ①・②を、(+)ドライバーではずします。
4. はくりローラーのゴムリングの中央部を指でつまんで、手前に引くと、はくりローラーホルダーユニットがはずれます。(図1)
5. ローラーユニットの左右のネジをはずして、ギヤとカラーをローラー軸から抜きとります。(図2)
6. 新しいローラーユニットをホルダーに合わせ、ギヤとカラーをローラー軸の形状にあわせて差し込み、それぞれネジで止めてください。
ギヤ : 右側 / 長いほうのネジ
カラー : 左側 / 短いほうのネジ
ギヤとカラーの左右を確認してください。
逆にセットするとローラーが逆転します。
7. はくりローラーホルダーユニットを、本体にセットし、ネジ2本で止めてください。

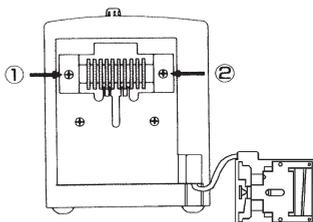
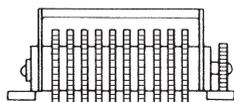


図1



はくりローラー・ホルダーユニット

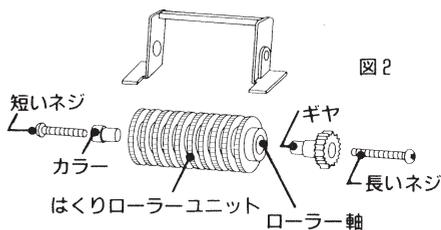


図2

別売部品の交換方法

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。

注意



部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、ACアダプターをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

TCE-700、シーケンスタイプ用 リールスタンド24の使用

1. 本体のリールを、後方へ引き抜き、はずします。(図1)
2. リールスタンド24の付属ネジを使用して本体底板とリールスタンド24を固定します。(図2)(図3)
3. テープをリールにはめこみ、リールスタンドのリール受けにセットします。(図4)
4. テープを、通常通りに送りローラーにセットして送り出してください。

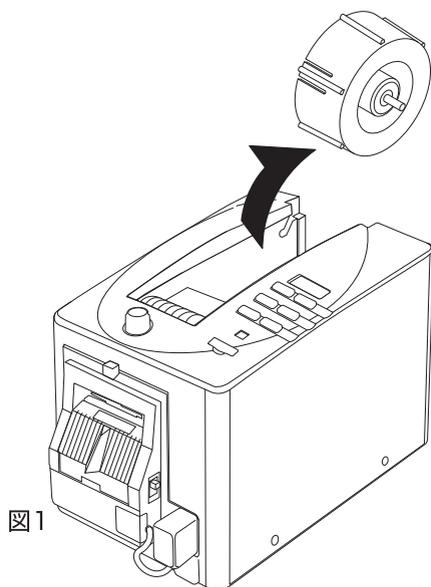


図1



図2 本体底板の穴

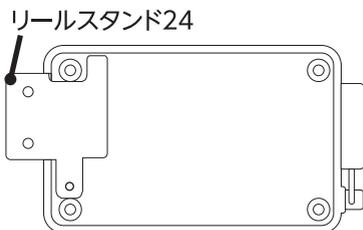


図3 リールスタンド24と本体底板の穴位置を合わせてネジで固定します。

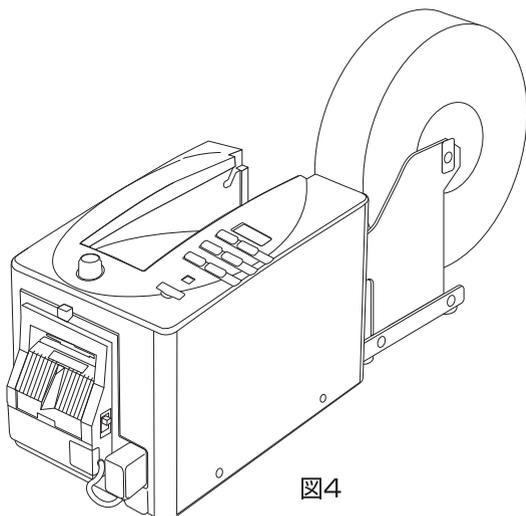


図4

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。

注
意



部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

TCE-700、シーケンスタイプ用 リールスタンド35の使用

1. 本体のリールを、後方へ引き抜き、はずします。(図1)
2. テープをパワーリール(別売部品)にはめこみ、リールスタンド35のリール受けにセットします。(図2)
3. リールスタンド35を本体の後方に置き、テープを通常通りに送りローラーにセットして送り出してください。(図3)

図1

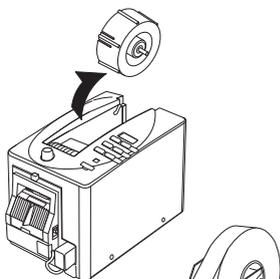


図3

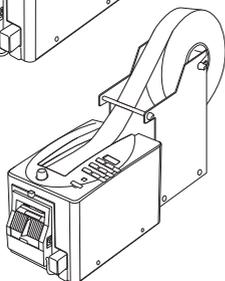
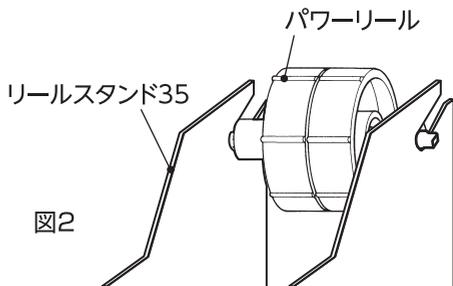


図2



パワーリールの使いかた

■テープの種類により、テープ走行時につぎのような現象が生じることがあります。その場合は、リールのつまみを調整して補正することができます。

- ・テープが横にズレてきて、長さがバラついたり、テープが詰まる。
- ・テープ巻から出ている部分がたるんできて、長さがバラついたり、からみ付く。

■図4のパワーリールつまみを強弱いずれかの方向に回して、調整してください。テープの種類・状態により条件が異なりますので、目安はありません。

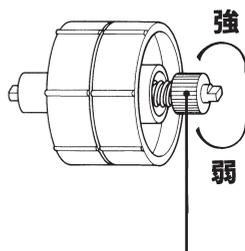


図4 パワーリールつまみ

仕様

| | |
|-----------|---|
| 表示 | 3桁 LED デジタル表示 |
| 使用可能テープ幅 | 7mm~50mm |
| 使用方法 | 粘着面が下側になるよう本体にセットしてご使用ください |
| テープ長さ設定範囲 | 30mm~999mm |
| 適用リール | φ76.3、φ35、φ25.4 |
| 適用テープ外径 | φ170mm以下 |
| 適用テープ種類 | セロテープ®、クラフト粘着テープ、布粘着テープ、片面はくり紙付き両面テープ（厚さ0.5mm以下）、クレープテープ |
| 駆動 | テープ送り・テープカット；DCモーター |
| 消費電力 | 18W |
| 本体仕様 | DC 18V 1A（専用アダプター使用） |
| ACアダプター仕様 | 電源（入力・出力）：AC100~240V 50/60Hz 1.5A・DC18V 2.5A コードの長さ：1.8m |
| 使用可能照度 | 蛍光灯：3,000 lx以下 LED：10,000 lx以下 太陽光：10,000 lx以下 ※屋外での使用はできません。 |
| 使用温度・湿度 | 温度5℃~40℃ 湿度80%RH以下 |
| 外形寸法・重量 | W137×D249×156mm 2.3kg |
| 材質 | 本体カバー：ABS樹脂 側板・底板：冷間圧延鋼板 カッター：片面フッ素コーティング |

一般的なテープでも本製品で使用できない場合が多数ございます。ご使用のテープがお使いになれない場合は、販売店または当社営業・お客様相談室へご相談ください。

お手入れの方法

注
意



お手入れのときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、ACアダプターをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

- オートフィード：テープの粘着剤が取れない時は、除光液やアルコールを布などにふくませて、拭いてください。カッターユニットに水分がかからないようご注意ください。
- 本体カバー：ABS樹脂製品です。乾いた布で拭いてください。キーの部分やオートフィードカッターユニットに水分がかからないようご注意ください。工業機械油・シンナー・ベンジンで拭きますと、破損、変質するおそれがあるので、使用しないでください。

保守・点検・サービス

- 安心してご使用いただくために、定期的な点検をおすすめいたします。
- カッター刃・はくりローラーユニット・シリコンオイルなどの消耗品は、予備品を常備しておくことをおすすめいたします。
- 故障の際は、巻末の保証規定により、アフターサービスを承ります。
- 原因不明の走行不良などの場合は、本体と一緒にご使用のテープ見本を1巻お送りください。より早く正確な究明に役立ちます。

本製品は、一般的なテープに対応できるよう設計されておりますが、全てのテープに対応できるものではありません。
 特殊なテープの場合は、販売店または当社支店、お客様相談室へご相談ください。

ニチバン株式会社

| オフィス名 | TEL | 所在地 |
|--------------------|--------------------------------|--|
| お客様相談室 (機器部品専用) | 0120-377-218 (03) 6311-7468 | (フリーダイヤル) 〒162-0082 東京都新宿区下宮比町2-26 KDX飯田橋ビル |
| 札幌オフィス | (011) 231-2310 | 〒060-0003 北海道札幌市中央区北三条西2丁目2-1 NX札幌ビル6F |
| 仙台オフィス | (022) 390-0220 | 〒984-0011 宮城県仙台市若林区六丁の目西町8-1 斎壽センタービル8F |
| 東京オフィス | (03) 5229-7523 | 〒162-0082 東京都新宿区下宮比町2-26 KDX飯田橋ビル |
| 名古屋オフィス | (052) 229-1770 | 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-4 BPRプレイス名古屋丸の内 |
| 大阪オフィス | (06) 4803-2331 | 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-9-6 肥後橋ユニオンビル4F |
| 広島オフィス | (082) 205-5392 | 〒730-0004 広島県広島市中区東白鳥14-15 NTTクレド白鳥ビル10階 |
| 福岡オフィス | (092) 521-1170 | 〒810-0011 福岡県福岡市中央区高砂1-24-20 ちくぎん福岡ビル8F |

製品 HP はこちらから→



部品注文・修理依頼はこちらから→



長年ご使用の オートテーパー™ の定期点検を!

| | | |
|------------------------------|--|---|
| <p>このような症状はありませんか</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。 ● コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。 ● 運転中、異常な音がある。 ● 本体が変型したり、異常に熱い。 ● こげくさい臭いがする。 ● その他の異常、故障がある。 | <p>お願い</p> <p>このような場合は事故防止のため本体スイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず販売店に点検・修理(有料)をご相談ください。</p> |
|------------------------------|--|---|

® は登録商標、TM は商標です。